

「公共工事コスト削減対策に関する新行動指針」
【施策名：(1)工事コストの低減 ①計画手法の見直し】

トンネル掘削湧水の処理方法の見直し

事業名：鉄道事業

概要：

(従来) ⇒ (新)
トンネル排水を一括処理 ⇒ 清水と濁水に分離して処理

効果

①濁水としての処理水量が減少し使用薬品量・電力量が削減

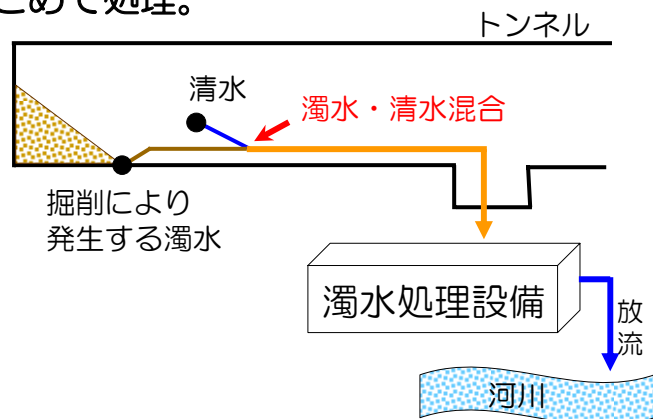
②濁水処理設備規模が小型化

工事費を2.1億円から1.7億円に減額 (削減額 0.4億円 削減率約 20%)

従来：

トンネル掘削時に発生する湧水（濁水及び清水）を一括して処理し、河川等に放流。

このため、濁水処理が不要な清水もまとめて処理。



改良後：

濁水処理が不要な清水については、配水管を別に設置し、濁水と混ぜないようにすることにより、①濁水としての処理量が減少し、使用薬品量及び電力量の削減②濁水処理設備の規模の小型化が可能。

